認定社会福祉士制度とは

社会福祉士の資格は、国家試験に合格し、登録機関に登録を行うことによって資格が与えられます。しかし、国家試験受験の受験要件として、実務経験とそれに基づく実務者教育を必須としているわけではないため、資格取得は社会福祉についての知識があることの証明はできても、必ずしもすべての社会福祉士の実践力を証明しているわけではありません。そのため、一般に社会福祉士資格の取得は専門職としての“スタートライン”と言われ、実践力はそこから積み上げていくことになります。

これまで、個々の社会福祉士は職能団体に加入して研修会に参加する、種別の研修会に参加するなど研鑽を重ねてきましたが、様々な研修体系の中で、どのような研鑽を重ね、どのような実践力を持っているのかがわかりにくい状況にありました。

一方、社会環境の変化に伴い、地域住民への社会的援助ニーズが増加・多様化し、その問題解決は複雑・困難化してきています。例えば、重度な認知症高齢者の増加に対する在宅生活への支援、高齢者や障害者、児童への虐待対応や防止への対応、さらには自殺者や孤独死、生活困窮者や若年失業者などの地域生活への支援が挙げられます。このような状況において、その解決を支援する社会福祉士への期待はますます高まっています。

これらに対応するために創設された認定社会福祉士制度は、高度な知識と卓越した技術を用いて、個別支援や他職種との連携、地域福祉の増進を行う能力を有する社会福祉士としてのキャリアアップを支援し、実践力を担保する仕組みです。

社会福祉士の実践力に応じて「認定社会福祉士」「認定上級社会福祉士」の２段階の資格を設定しています。

認定社会福祉士

所属組織を中心にした分野における福祉課題に対し、倫理綱領に基づき高度な専門知識と熟練した技術を用いて個別支援、他職種連携及び地域福祉の増進を行うことができる能力を有することを認められた者です。

次のような役割が期待されています。

○ 複数の課題のあるケースの対応を担当する。
○ 職場内でリーダーシップをとる。実習指導など人材育成において指導的役割を担う。
○ 地域や外部機関との対応窓口となる（窓口として緊急対応、苦情対応などに関わる。）
○ 関連分野の知識をもって、他職種と連携する。職場内でのコーディネートを行う。組織外に対して自分の立場から発言ができる。

＊認定は「高齢分野」「障害分野」「児童･家庭分野」「医療分野」「地域社会・多文化分野」の５分野で行われます

認定上級社会福祉士

福祉についての高度な知識と卓越した技術を用いて、倫理綱領に基づく高い倫理観をもって個別支援、連携・調整及び地域福祉の増進等に関して質の高い業務を実践するとともに、人材育成において他の社会福祉士に対する指導的役割を果たし、かつ実践の科学化を行うことができる能力を有することを認められた者です

次のような役割が期待されています。

○ 複数の課題のあるケースについての指導・スーパービジョンを行う。
○ 財務管理、人事管理、苦情・リスクマネジメントなどの組織管理を理解し、組織のシステムづくり、変革に取り組む。
○ 地域の関連機関の中核となり、連携のシステム作り、地域の福祉政策形成に働きかける。
○ 実践の科学化を行うとともに科学的根拠に基づく実践の指導・推進を行う。

認定社会福祉士認証・認定機構

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-13 カタオカビル２F 公益社団法人 日本社会福祉士会内
TEL：03-3355-6541　FAX：03-3355-6543　e-mail：ninteicsw@jacsw.or.jp
www.jacsw.or.jp/ninteikikou/

「認定社会福祉士認証・認定機構」は、次の団体から構成されています。（五十音順）

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟／公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会／公益社団法人日本社会福祉士会／社会福祉法人全国社会福祉協議会／社会福祉法人全国社会福祉協議会全国社会福祉法人経営者協議会／特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会

さらなる福祉サービスの充実・向上
求められるリーダーシップ
後進の社会福祉士の育成
社会福祉実践の科学化

認定社会福祉士制度

認定社会福祉士制度は、2007 年の「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正の際、「専門社会福祉士の仕組みについて、早急な検討を行う」ことが、参議院・衆議院において附帯決議されたことに基づき導入が検討され、制度を運用する組織として認定社会福祉士認証・認定機構を設立しました

認定社会福祉士認証・認定機構

社会福祉士資格の取得から、認定社会福祉士、認定上級社会福祉士へのステップ　～キャリア形成と養成体系～

社会福祉士国家試験合格・登録（資格取得）

START

認定社会福祉士制度における実践力養成の３つの柱

1．実務経験目標

実務において経験すべき事項を明示し、実務経験を標準化することで実践力を向上させる

2．スーパービジョン

❶ 定期的なスーパービジョンを受け、実践力を育成する（認定社会福祉士）。

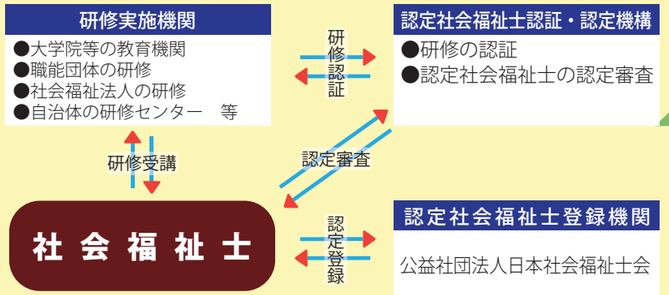
❷ スーパーバイジーに対してスーパービジョンを行い、指導力・説明力を向上させる（認定上級社会福祉士）。

3．研　　修

❶ 養成課程では学んでいない専門的な知識等を修得する（認定社会福祉士）

❷ 実践課題に応じた知識の習得と実践研究等を通じ、専門的知識の統合・運用を可能にする（認定上級社会福祉士）

認定制度のしくみ



認定社会福祉士・認定上級社会福祉士の認定を受けるには？

認定社会福祉士の認定申請のためには次の要件を満たす必要があります。また、認定上級社会福祉士の認定を受けるためには認定社会福祉士であるほか、定められた実績があること等の要件を満たすことが必要です。

❶ 社会福祉士及び介護福祉士法に定める社会福祉士資格を有すること

❷ 日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領と懲戒の権能を有する団体の正会員であること（日本社会福祉士会の正会員、日本医療ソーシャルワーカー協会が該当します。）

❸ 社会福祉士資格取得後、相談援助実務経験が５年以上、そのうち申請する分野での相談援助実務経験が２年以上あること（相談援助実務とは、原則として昭和 63 年社庶第 29 号別添１に定める施設における業務の範囲となります。）

❹ 別に例示する実務経験*1があること（個別レベル、組織レベル、地域レベルの３つのレベルについて、それぞれに「経験目標」が定められます。）

❺ 認められた機関での研修*2を受講していること

*1 例示する実務経験（個別レベル）

- 相談援助の開始にかかわる業務
- 理論・モデルにもとづくアセスメント
- アセスメントにもとづく目標設定と計画の立案
- サービス調整会議・ケースカンファレンス等による検討及び調整並びにコーディネーション
- 計画に基づく支援の実施とモニタリング
- 相談援助の終結にかかわる業務

認定社会福祉士（更新制）★★

役割・活動
所属組織を中心とした活動

実践経験目標
・所属組織でのサービス管理
・地域での連携・ﾈｯﾄﾜｰｷﾝｸﾞ
等の実践

定められた実績
・教育実績
・研究実績
・社会活動

ｽｰﾊﾟｰﾋﾞｼﾞｮﾝ
受ける（5 単位）
おこなう（5 単位）

研　　修
・共通専門研修
・分野専門研修
・特定領域の研究　等

社会福祉士 ★

役割・活動
職場配属

実践経験目標
個別支援を中心とした実践

ｽｰﾊﾟｰﾋﾞｼﾞｮﾝ
受ける（10 単位）

研　　修
・共通専門研修
・分野専門研修

受講

*2 認められた機関での研修（認定社会福祉士取得に必要な科目と単位）

区　分	科目群
共通専門科目 １０単位	● ソーシャルワーク理論系科目群（2 単位以上） ● 権利擁護・法学系科目群（2 単位以上） ● サービス管理・人材育成・経営系科目群（2 単位以上） ● 地域福祉・政策系科目群（1 単位以上） ● 実践評価・実践研究系科目群（1 単位以上）
分野専門科目 １０単位	取得しようとする分野（高齢分野 / 障害分野 / 児童・家庭分野 / 医療分野 / 地域社会・多文化分野）から下記の科目を履修する。 ● 分野における制度等の動向（1 単位） ● 理論・アプローチ別科目（1 単位以上） ● 対象者別科目（1 単位以上） ● ソーシャルワーク機能別科目群の科目（1 単位以上）

5 年以上の相談援助実務経験

10 年以上の相談援助実務経験

認定上級社会福祉士（更新制）★★★

役割・活動
地域に広がる活動

研　　修

ｽｰﾊﾟｰﾋﾞｼﾞｮﾝ
受ける・おこなう

定められた実績

私は医療機関で働く社会福祉士です。認定資格を持つ他職種スタッフと連携する事が多く、私も認定制度に興味を持ちました。今感じている事は、認定という資格が　チームメンバーとして同じ土壌でやりとりするためのパスポート的な存在である事。また資格の取得過程で得たもの～新しい知識や理論、仲間とのつながり等が実践に役立っている事です。

まだ道半ばですから勉強を重ねつつ丁寧に仕事と向き合い、その延長としての資格更新！を目標にしています。この認定制度が、同じ道をゆく仲間が増えるきっかけになるよう期待し、心から応援しています。

佐伯まどか
日本医科大学多摩永山病院／認定社会福祉士（医療分野）

私は、より熟練した相談援助実践者になりたいという思いから、認定社会福祉士を目指しました。認定社会福祉士の取得は私のキャリア形成のひとつでもあります。認定社会福祉士制度に沿って研鑽すると、ジェネリックな力量とスペシフィックな力量をバランスよく習得し、スーパービジョンを通して、自己の実践を振り返ることができます。

実践力を身につけることができる最も効果的な方法であると思います。皆さんもぜひ認定社会福祉士を目指してください。一緒に良い支援をしていきましょう。

石飛勝
島根県出雲児童相談所／認定社会福祉士（児童・家庭分野）

SKILLS&CAREER-UP